



# ソケット通信アプリケーション 取扱説明書

2026年6月1日(第2.1版)

大電株式会社  
ネットワーク機器部

## 目次

1. はじめに .....	2
2. 特徴 .....	2
3. 動作環境 .....	2
4. ソケット通信アプリケーションのインストール .....	3
4. 1. .NET Framework のインストール .....	3
4. 2. 本アプリケーションのインストール .....	4
5. ソケット通信アプリケーションのアンインストール .....	6
6. 機能詳細 .....	7
6. 1. アプリケーションの起動 .....	7
6. 2. 各種設定 .....	8
6. 3. DN9830E との疎通テスト .....	9
7. 問い合わせ先 .....	15

## 1. はじめに

本書は、「ソケット通信アプリケーション」について記述します。

アプリケーションのバージョンは 1.xx (xx は軽微な変更毎に随時更新)に対応しています。

## 2. 特徴

本アプリケーションは、マイクロソフト社の提供する「Microsoft .NET Framework」上で動作するソケット通信アプリケーションです。本アプリケーションを使用することで、Windows™のソケット通信を用いたイーサネットパケットの送受信を行うことが可能です。

## 3. 動作環境

本アプリケーションは、以下の利用環境で動作確認をしています。(記載した環境でのすべての動作を保証するものではありません。)

### ・対応 OS

・Windows XP Professional Service Pack 3

・Windows 7 Professional Service Pack 1

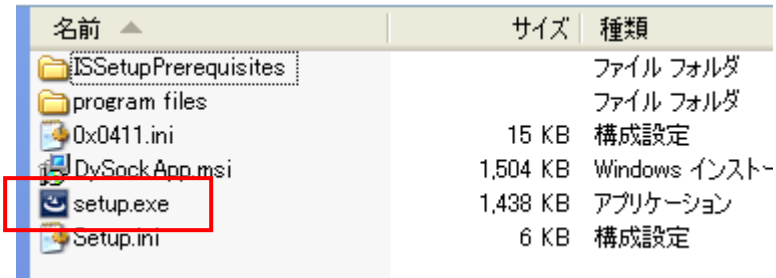
### ・システム要件

・.NET Framework 3.5

※ 本アプリケーションをインストールするPCに、.NET Framework 3.5(もしくは、それ以上のバージョン)がインストールされていない場合、.NET Framework のインストール画面を表示しますので、画面の表示に従いインストールを行ってください。

#### 4. ソケット通信アプリケーションのインストール

setup.exe ファイルを実行すると、本アプリケーションのインストール画面が表示されます。



名前	サイズ	種類
ISSetupPrerequisites		ファイル フォルダ
program files		ファイル フォルダ
0x0411.ini	15 KB	構成設定
DySockApp.msi	1,504 KB	Windows インスト
setup.exe	1,438 KB	アプリケーション
Setup.ini	6 KB	構成設定

図 setup.exe ファイルの実行

なお、実行した PC に .NET Framework 3.5 (もしくは、それ以上のバージョン) がインストールされていない場合、.NET Framework のインストール画面を表示しますので、画面の表示に従いインストールを行ってください。

##### 4.1. .NET Framework のインストール

下記の画面が表示された場合、.NET Framework 3.5 のインストールが必要です。本アプリケーションに、.NET Framework 3.5 のインストーラを添付しておりますので、「インストール」をクリックしてください。

※ すでに .NET Framework 3.5 (もしくは、それ以上のバージョン) がインストールされている場合には、下記の画面は表示されず、後項の本アプリケーションのインストール画面が表示されます。

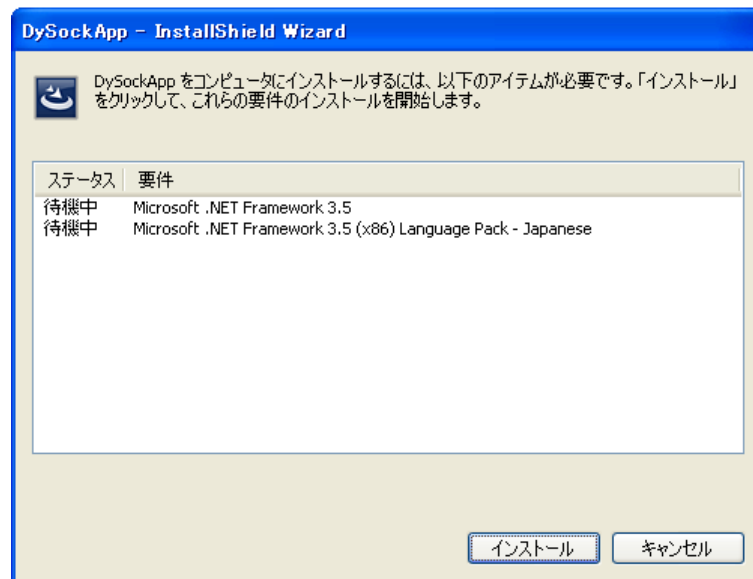


図 .NET Framework 3.5 インストール画面

## 4.2 本アプリケーションのインストール

- ① 本アプリケーションのインストーラが起動しましたら、内容をご確認の上、「次へ」をクリックしてください。

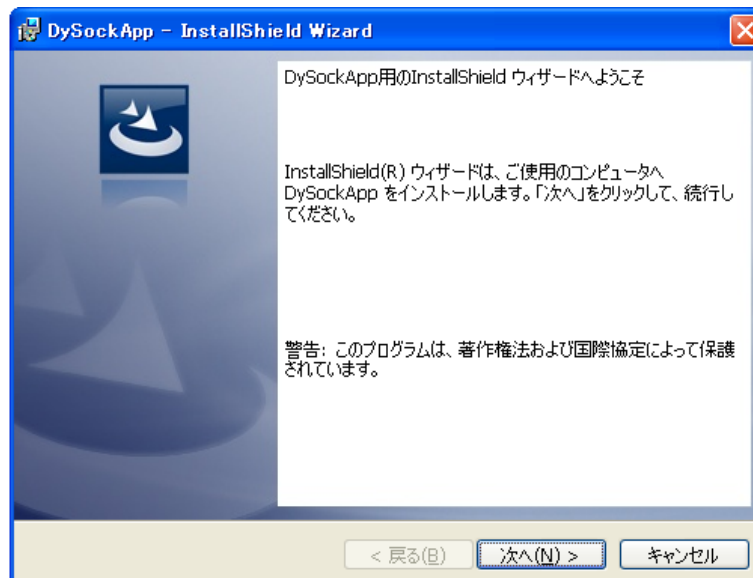


図 インストーラ起動画面

- ② 本アプリケーションのソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。

内容をご確認の上、同意いただける場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。（同意いただけない場合、本アプリケーションはインストール・利用いただけません。）



図 ソフトウェア使用許諾契約画面

- ③ 「インストール」をクリックすると、インストールを実行します。

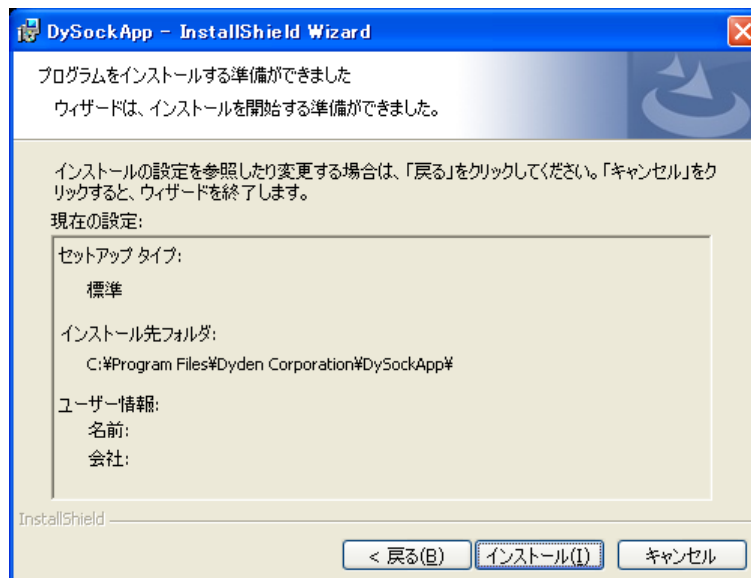


図 インストール開始画面

- ④ 下記の画面が表示されると、インストール完了です。「完了」をクリックすると、インストーラが終了し、本アプリケーションの使用が可能となります。



図 インストール完了画面

- ⑤ 本アプリケーションの起動は、デスクトップ画面のショートカット、もしくは、スタートメニューより選択し行ってください。



図 ショートカットアイコン

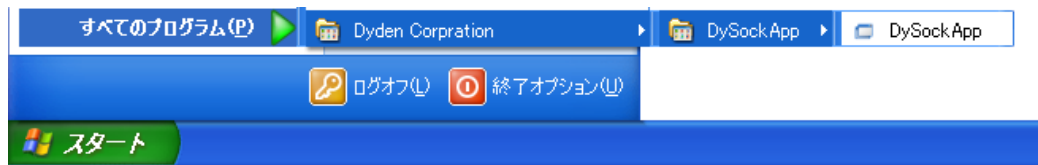


図 スタートメニュー画面

## 5. ソケット通信アプリケーションのアンインストール

本アプリケーションのアンインストールは、コントロールパネルから「DySockApp」の削除を行ってください。

## 6. 機能詳細

### 6.1. アプリケーションの起動

デスクトップ画面のショートカットアイコンをダブルクリックすることで、ソケット通信アプリケーションが起動します。

アプリケーションを起動したPCのIPアドレスが表示されていることを確認してください。(コマンドプロンプトにて、「ipconfig /all」を実行することでPCのIPアドレスを確認することができます。)

※ LANに接続されていない状態や、NICを複数搭載しているPCではループバックIPアドレスが表示されるなど、意図しないIPアドレスを表示することがあります。必ずPCの状態を確認してください。

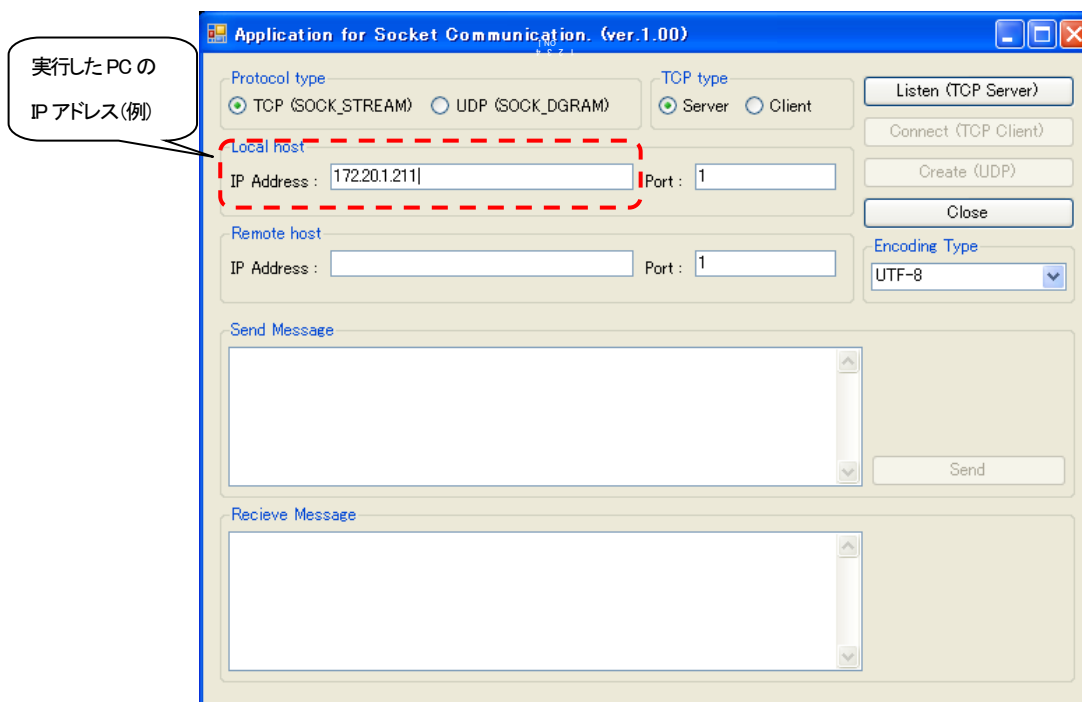


図 ソケット通信アプリケーション起動画面

## 6.2 各種設定

次に、通信プロトコル(TCP Server / TCP Client / UDP)、送信先IPアドレス、TCP/UDPポート番号を設定します。

TCP/UDPポート番号は、他のアプリケーションと重ならないようにしてください。(コマンドプロンプトにて、「netstat -a」を実行することで他のアプリケーションが取得しているポート番号を確認することができます。また、DN9830Eが取得できるTCP/UDPポート番号が49152~65535となっていますので、その範囲でお使いください。)

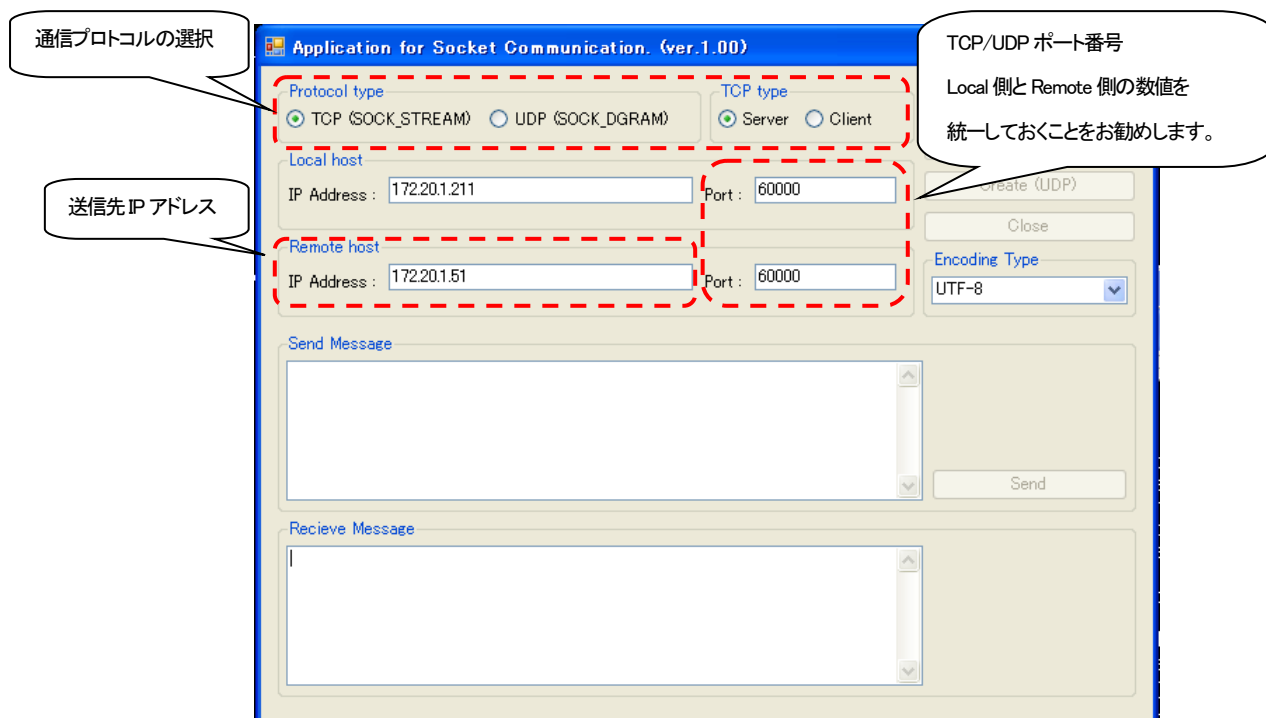
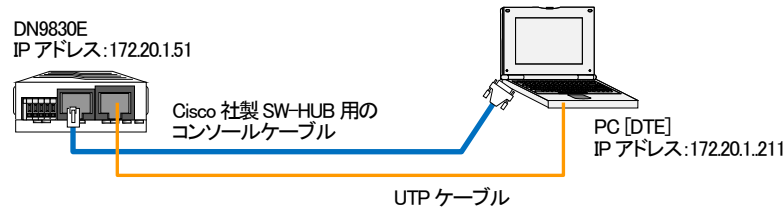


図 ソケット通信アプリケーション設定画面

### 6.3. DN9830E との疎通テスト

ここでは、以下の図のような環境を想定した本アプリケーションとDN9830E間のTCP/IPによる疎通テスト手順について説明します。  
なお、端末エミュレータが必要になりますので、別途、ご準備ください。(本書では、「Tera Term」を使用した例を挙げています。)



#### ① DN9830Eの設定

端末エミュレータを起動し、DN9830EのIPアドレス、RS232c⇔イーサ変換機能の設定を行います。

※ 事前に側面の設定SWを前方の状態(Consoleモード)であることを確認してください。

※ 端末エミュレータの設定、DN9830Eの設定方法やログイン方法などの詳細は、DN9830Eのソフトウェア取扱説明書を参照してください。

```
MC#ipconfig ip 172. 20. 1. 51          <•DN9830E の IP アドレス設定を行います。
Command Completed.                   <(今回は例として”172.20.1.51”に設定しています)

MC#ping 172. 20. 1. 211                <•IP アドレス変更後に Ping による疎通テストを行って
PING 172. 20. 1. 211 32byte           <正常に通信できることを確認してください。
Reply from 172. 20. 1. 211 : bytes=32 time=6ms
Reply from 172. 20. 1. 211 : bytes=32 time=5ms
Reply from 172. 20. 1. 211 : bytes=32 time=4ms
Reply from 172. 20. 1. 211 : bytes=32 time=5ms

Ping statistics for 172. 20. 1. 211 :
    Packets : Sent = 4, Received = 4, Lost = 0

MC#rs232c-ether baudrate 9600          <•端末エミュレータにあわせて、RS232c インターフェイス
Command Completed.                   <の設定を行います。

MC#rs232c-ether sendhost 172. 20. 1. 211 protocol tcp port 60000
Command Completed.                   <•DN9830E の送信先 IP アドレス設定を行います。
                                        <(今回は PC の IP アドレスとなります)

MC#rs232c-ether rcvhost add 172. 20. 1. 211
Command Completed.                   <•DN9830E の受信元 IP アドレス設定を行います。
                                        <(今回は PC の IP アドレスとなります)

MC#rs232c-ether mode polling interval 1000
Command Completed.                   <•RS232c⇔イーサ変換方法を設定します。
                                        <(今回はポーリング時間変換(1 秒)としています)

MC#
```

Consoleによる設定が完了した後、側面の設定SWを後方の状態(RS232c⇔イーサ変換モード)にしてください。

## ② 端末エミュレータの設定

Tera Termでは、改行コードのデフォルト設定がWindowsの改行コードと異なります。

また、日本語の文字コードを本アプリケーションとあわせておく必要があります。

メニューバーから、[設定(S)] > [端末(T)]を選択し、以下の図に示すように変更してください。

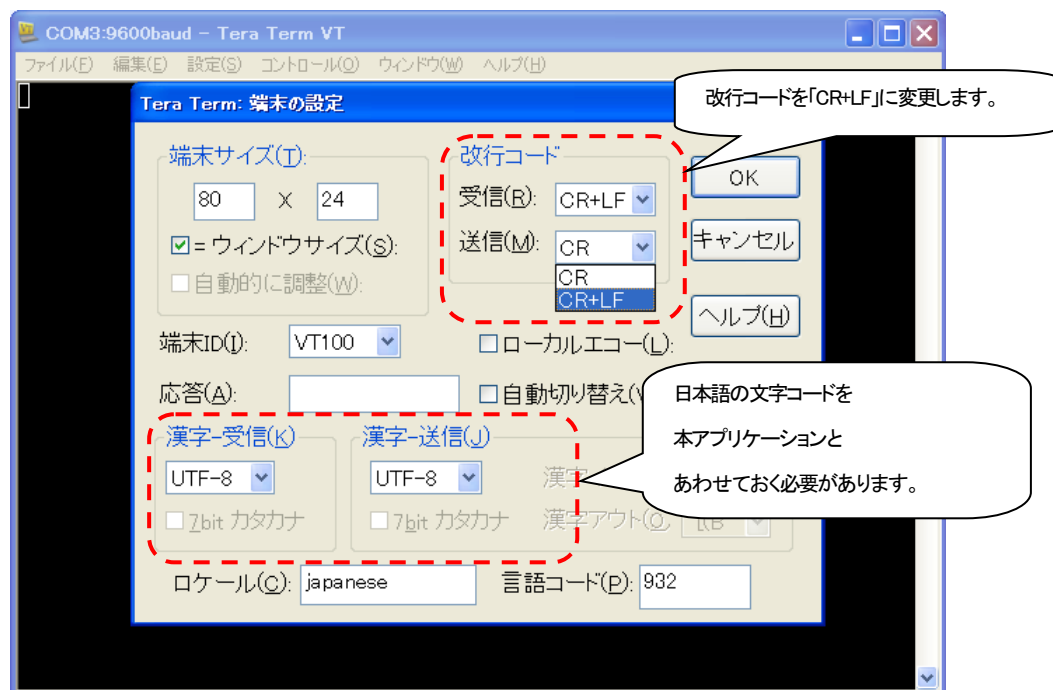


図 Tera Term設定画面

### ③ ソケット通信アプリケーションの設定(TCP Server設定)

ソケット通信アプリケーション画面を開き、TCP Serverとして設定します。

図のように、「TCP」、「Server」を選択します。

DN9830E の IP アドレスを入力します。

DN9830E と同一となるよう  
ポート番号を入力します。

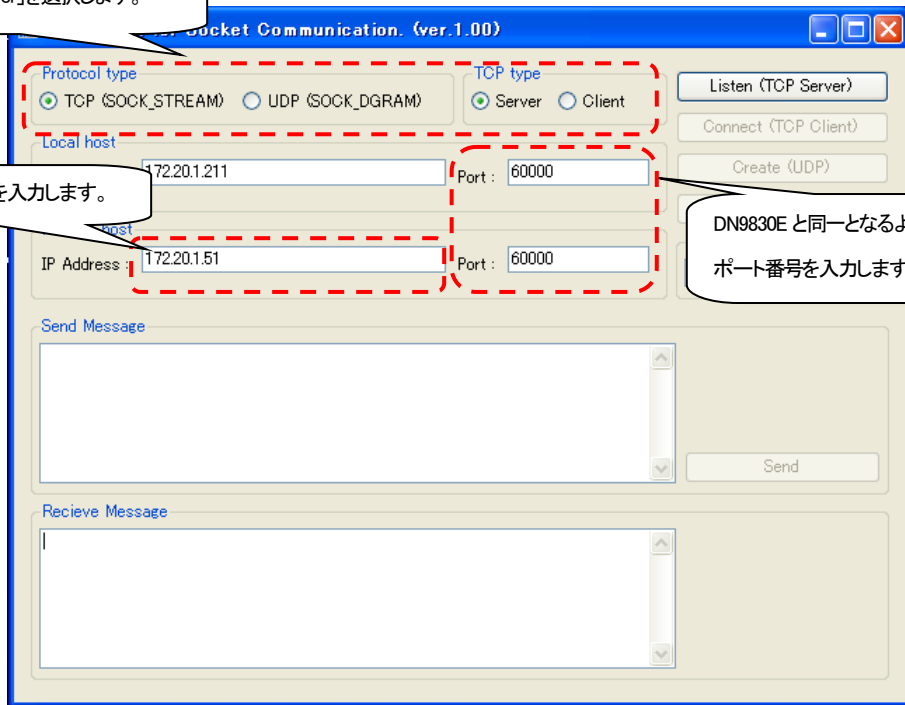


図 TCP Server設定画面

### ④ ソケット通信アプリケーションの設定(TCP Serverソケット取得)

設定が完了しましたら、「Liseten」ボタンをクリックし、ソケットを取得してください。

「Liseten」ボタンをクリックし、  
ソケットを取得します。



図 TCP Serverソケット取得画面

### ⑤ TCP Server疎通テスト実施

端末エミュレータに入力し、疎通テストを行います。

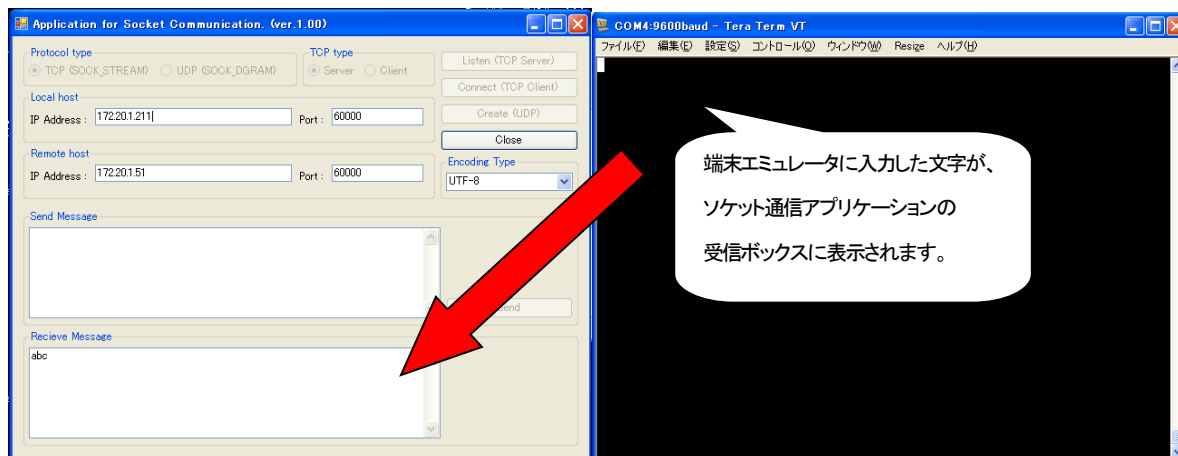


図 TCP Server疎通テスト実施画面

疎通テスト終了後は、「Close」ボタンをクリックし、ソケットを開放してください。

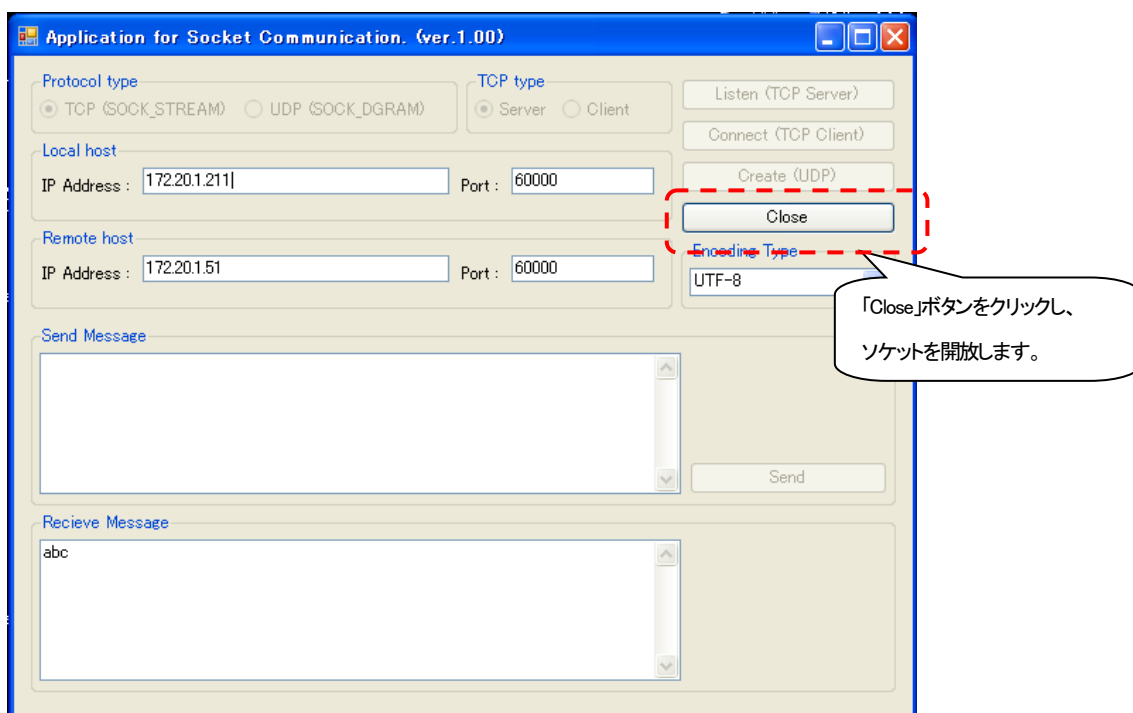


図 TCP Server疎通テスト終了画面

⑥ ソケット通信アプリケーションの設定(TCP Client設定)

ソケット通信アプリケーション画面を開き、TCP Clientとして設定します。

図のように、「TCP」、「Client」を選択します。

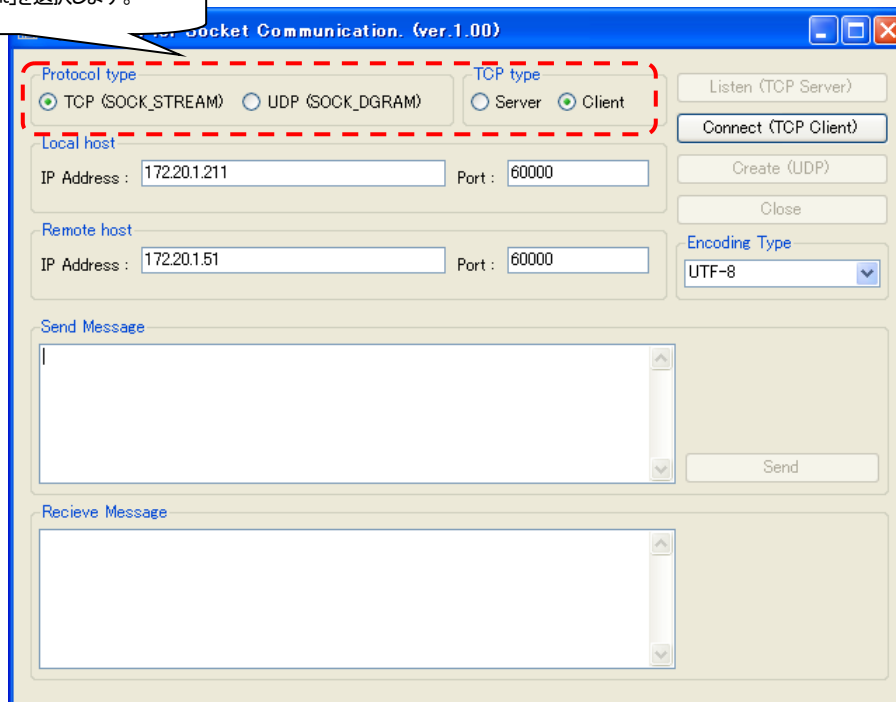


図 TCP Client設定画面

⑦ ソケット通信アプリケーションの設定(TCP Clientソケット取得)

設定が完了しましたら、「Connect」ボタンをクリックし、ソケットを取得してください。

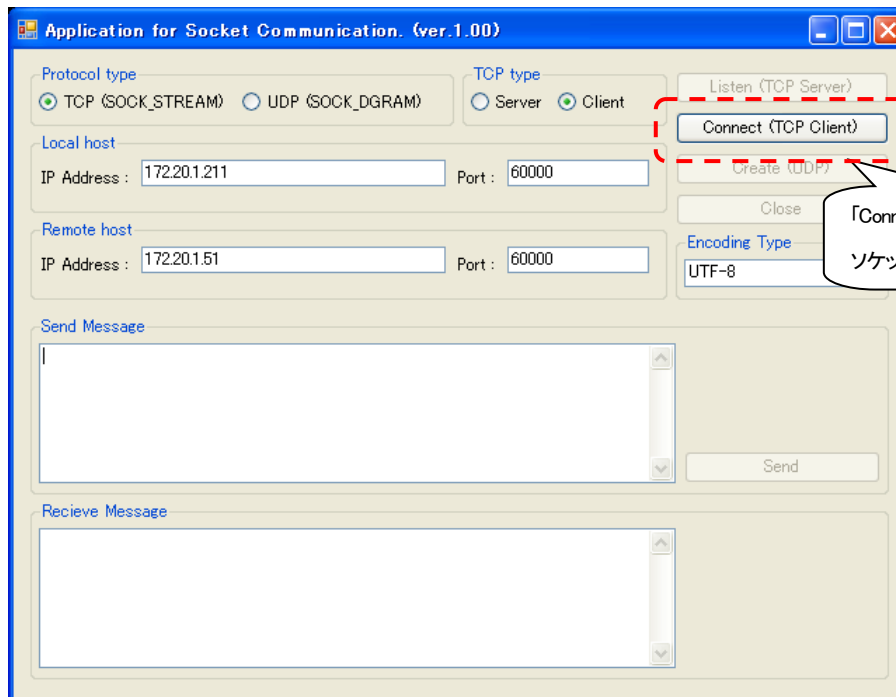
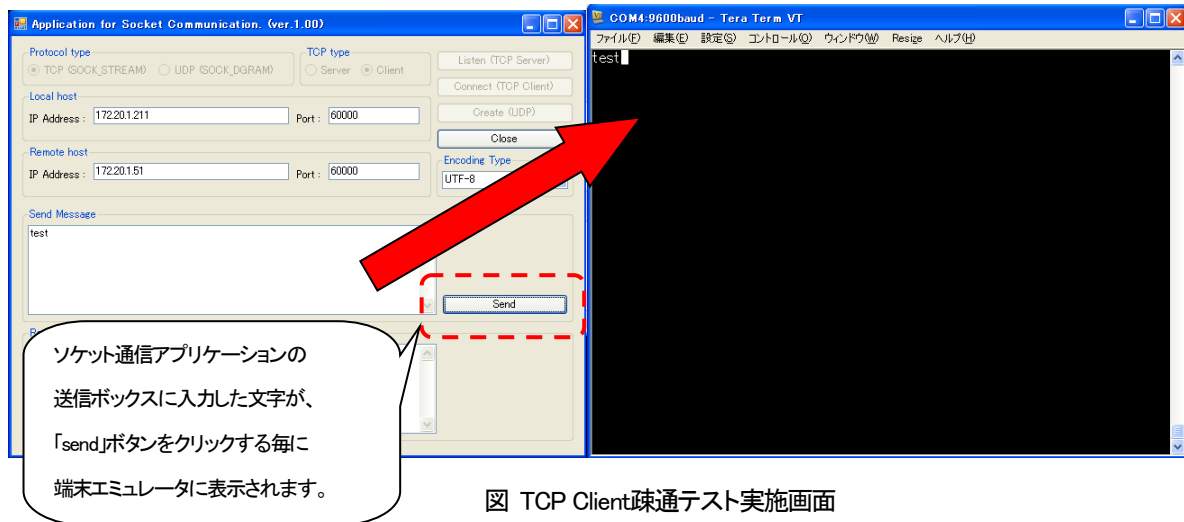


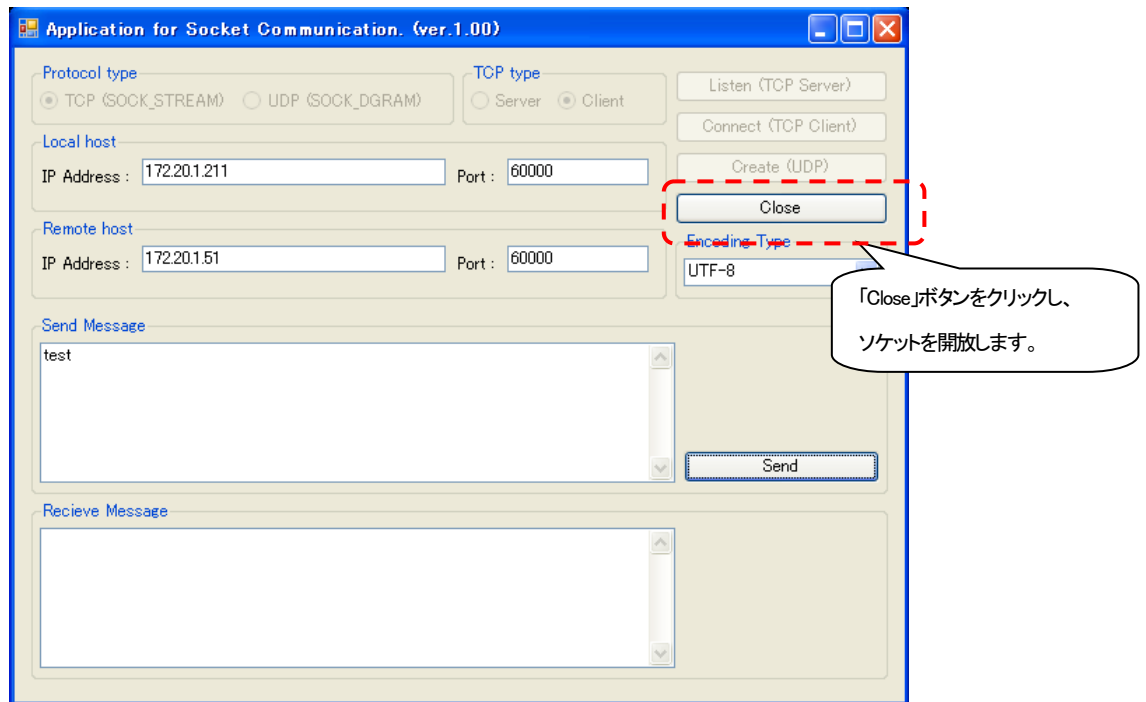
図 TCP Clientソケット取得画面

## ⑧ TCP Client疎通テスト実施

ソケット通信アプリケーションの送信ボックスに文字を入力後、「send」ボタンをクリックし、疎通テストを行います。




疎通テスト終了後は、「Close」ボタンをクリックし、ソケットを開放してください。



## 7. 問い合わせ先

### 『窓口』 大電株式会社 ネットワーク機器部

コールセンター(テクニカルサポート窓口) :  0120-588-545 (携帯にも対応)  
受付:8:30~12:00/13:00~17:00  
(土・日・祝日および当社休日を除く)  
e-mail: [dyden-network@dyden.co.jp](mailto:dyden-network@dyden.co.jp)  
受付:24 時間